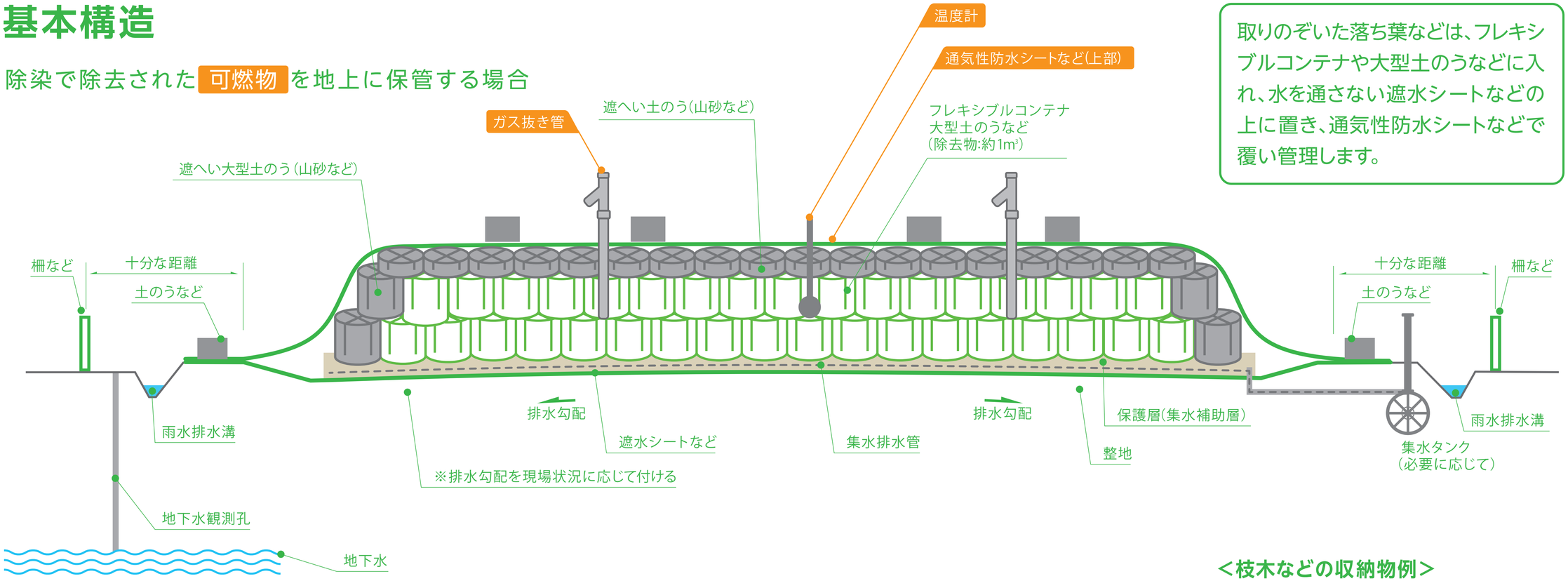
仮置場の基本構造と安全性

可燃物

基本構造

除染で除去された可燃物を地上に保管する場合



取りのぞいた落ち葉などは、フレキシブルコンテナや大型土のうなどに入れ、水を通さない遮水シートなどの上に置き、通気性防水シートなどで覆い管理します。

可燃物の特徴

取りのぞいた落ち葉や落ちた枝、伐採した枝木や葉などの可燃物は、置いておくとガスが発生し、火災の原因になるおそれがあるので、通気性防水シートなどで覆い、ガス抜き管を設置します。また、定期的に廃棄物の保管状態を確認し、白煙や水蒸気などが確認された場合は内部の温度などを測定し、適正に管理します。

＜枝木などの収納物例＞